



# 田人の心



2020年 4月 30日 (木)

発行者 (文責)

校長 愛川 政 弘

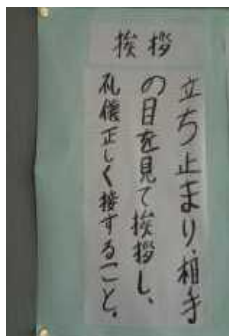
令和2年度が新体制でスタートして間もなく臨時休校となってしまい、ご挨拶が大変遅くなってしまいました。大幅に教職員が入れ替わりましたので、学校が再開した際に、改めて皆様のご紹介させていただきますので、ご了承願います。

今年度の学校だよりは、本校の教育理念である「田人の心を心とする教育」を、皆様と一緒に考えていきたいという思いから、「田人の心」としてスタートさせていただきます。学校の教育活動等は、ホームページにて紹介させていただいておりますので、学校だよりではなるべくダブらない内容で、かつ皆様と共有したい情報を中心に発信していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



本日は、新学期がスタートして、わずか10日間の子どもたちとの出会いの中で私自身が感動したエピソードをご紹介します。

## ① 【あいさつ】

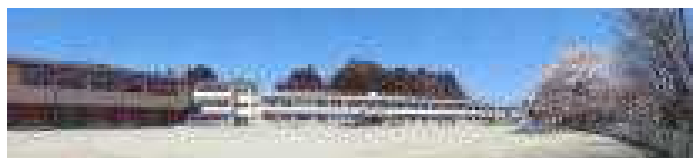


子どもたちが登校する朝7時20分頃から、昇降口前で待っていると、中学生を中心に立ち止まってあいさつをする様子にまず驚きました。長い教員生活の中で、かつて同じような挨拶をする双子の兄弟がいました。彼らは、他の誰がしなくても自分たちはこのあいさつを大事にしているという、県を代表する全国大会常連の柔道少年でした。その時より大きな衝撃を受けたのは、田人の子どもたちがごく自然に、ほぼ全員行っているという姿でした。4月7日に、中学校の対面式があり納得しました。先輩から後輩へ、「新入生の心得」として、これまで大事にしてきた田人の伝統を受け継いでいたのです。相手を意識して自分で行動できる田人の心に触れることができました。

## ② 【下足箱】



このきちんとかかところが揃えられた下足箱を見てお気づきでしょうか。私は驚きすぎて思わず写真を撮ってしまいました。誰かが注意をしたわけでもなく、お兄さん、お姉さんの行動をまねして入学したばかりの小学1年生でさえ、きちんと靴を揃えている姿に。先輩方の無意識で行っている行動が、後輩への意識化につながっている表れなのだと感じました。



今、子どもたちの命を守ることを第一に、新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休業が続いていますが、学校では上記のような

すばらしい心を持つ子どもたちのために、今後何ができるのか、何をすべきか、連日相談しながら準備を進めております。田人小・中学校としての新たな取り組みを今後もお伝えして参りますので、学校が無事再開されるまでの間、さらなるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。また、お困りのことが何かございましたら、遠慮なく学校までご連絡、ご相談いただければと思います。

